

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとりまします。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

今週の紙面

- 2面 珠洲原発 女性ニュース
- 3面 読者のページ/まんが/パズル
- 4・5面 避難所と復興に人権を/気候正義/ホットライン
- 6面 就学援助/母の歴史/文化情報
- 7面 新婦人の活動/主張/いっしょにあそぼ!



岐阜市 佐野のり子

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

能登半島地震から2カ月 大軍拡、裏金、万博どころじゃない

住まい、仕事、子ども…支援急いで

米山会長が被災地訪問

能登半島地震から2カ月。今なお復興にほど遠く、2万人が避難し先の暮らしに不安を抱えています。新婦人の米山淳子会長が、石川県本部、金沢支部とともに輪島市から県内各地に避難する会員を訪ね、要望を聞き、励まし合いました。

声を行政につなげて 内灘

トイレが大変

震源地から約1000
き、石川県内灘町の西荒
屋敷地区へ。「被害の実態をぜひ見てほしい」と、



新婦人内灘支部はまなす班の会員から現状を聞く米山会長 (左)

避難所の会員を訪ねて



輪島→金沢
金沢市内の「みなし仮設」アパートに入居した輪島支部の会員を支部事務局長の倉田さんと訪ねた



輪島→小松
2次避難所のホテル。「2月末でここを出なければならず、不安はあるが輪島に帰る」と輪島支部鳳至(ふげし)班の2人(右端)



輪島→加賀
2次避難所のホテル。「まだ家がどうなっているのかわからず、『みなし仮設』に入れと言われても踏ん切りがつかない」と、県本部委員で輪島支部鳳至班の小崎さん(中央)

広域に避難する被災者



断水が続く、地域の各所に給水所と仮設トイレが。トイレの個所を増やしたり、電気をつけ明るくしたり、男女別に個数を増やすなど、住民の要求を改善してきました。はまなす班の黒田美江さんは、4人の子育て

で、町内を歩きました。この地域は、地震で起きた液状化現象の被害が深刻です。電柱は傾き、道路は波打ち、家屋も倒壊したりの地面に埋まり、被害は想像以上です(右下写真)。

住民に情報届けて

干潟近くの丘には、「がんばろう内灘」ののぼり旗と横断幕が掲げられた山小屋風の建物が。民医連の健康友の会や新婦人の会員などのため、場として、情報収集や励まし合い、地域住民の要望を聞いて行政に届ける活動をしています。この日もちようど、支援制度

地震国に原発いらない



「志賀原発は廃炉に」と街頭で署名宣伝 (16日、金沢市内)



「がんばろう内灘」を出発し、地域訪問へ
2月22日、新婦人も入る「能登半島地震被災者共同支援センター」が石川・羽咋市に開設。共同での支援活動が本格的に始まりました。

この間、町へ2回要請、懇談。「この実態を、
県、国に伝えてと言いつつ、被災地でしっかりつながら、声をあげる活動に希望を感じました。」

の資料などを持って地域訪問に出かけるつもりでした。
代表を務める角田豊子さんは「何でもホームページを見てください」と言われますが、みんながアクセスできるわけではない。大事な情報は情報の共有化です。」
物資など細かい要望を役場に届け、「ようやく役場から被災者へ郵便で情報が届くようになった」と話します。



液状化で道路が隆起、沈没し、車は傾きながら走行する(17日、内灘町西荒屋地域)

